

【一回戦】 B1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
豊玉町野球部	0	0	0	0	0	1	0			1
島原トータス	0	0	0	0	0	0	0			0

開始 08:58 終了 10:18 所要 1時間20分

【二塁打】 小島洋平(エンタイトル)  
泉圭介(エンタイトル)

【審判】 加藤陽介  
中屋隆太  
糸瀬 明  
中島重幸

【豊玉町野球部】

背番号	名前	打	安	点	球
⑥	扇 祥喜	31	4	0	0 0
①	小島 洋平	40	3	1	0 0
③	梅野 譲治	35	1	0	0 0
3	森 俊介	35	2	1	0 0
⑤	村瀬 裕亮	43	2	0	0 1
⑧	松本 拓之	30	2	0	1 0
⑦	齋藤 公敬	31	3	0	0 0
②	糸瀬 慎吾	35	3	0	0 0
④	樋口 和	29	3	1	0 0
⑨	阿比留良拓	41	3	0	0 0
犠1振3残6併0失1		26	3	1	1

C級登録チーム同士の対戦。豊玉町野球部は開催地の予選会一回戦で代表となった巖原マリナーズに敗退したが、開催地枠を決める敗者復活戦で2連勝し開催地参加枠を得、平成11年県大会以来20年ぶりの天皇杯県大会出場。島原トータスも平成22年県大会以来9年ぶり二度目の天皇賜杯県大会に支部予選会を経ての出場。

得点があったのは六回の豊玉。先頭の小島が右中間エンタイトル打し森の三塁前への絶妙な流し打ち。二盗後の一死二三塁に松本の投前スクイズが決勝点で、五回までには内野安打1本の打線であった。

対する島原は初回到坂本、平尾の連安打に死球の二死満塁や、二回は二死から井上の安打と死球を捕逸で二三塁も後続が倒れ、三回到泉のエンタイトル二塁打は二死後。四回二死から敵失を得て二盗を決めた井上も本塁に還ることができず、豊玉40歳の小島から完封された。

【島原トータス】

背番号	名前	打	安	点	球
⑥	扇 惇平	25	3	0	0 1
⑧	坂本 義章	30	3	1	0 0
①	平尾 慎一	32	3	1	0 0
②	島田 真矢	25	3	0	0 0
⑦	泉 圭介	31	2	1	0 1
③	手水 佑樹	30	3	0	0 0
⑨	石田 真臣	29	3	0	0 0
④	松田 邦雄	61	3	0	0 0
⑤	井上 欣哉	23	3	1	0 0

犠0振6残7併0失3 26 4 0 2

[その他の登録選手] 坂本義弘(59)、立花孝介(30)  
本村仁(19)、井上千尋(19)、小濱優太(18)  
岩本成希(31)、中村優人(26)、平尾拓真(30)  
田浦龍文(30)、田浦光哲(25)、中村秀二(66)

[その他の登録選手] 井村直樹(29)、

瀬崎魁(21)、阿比留健太(41)、黒木圭太(33) 糸瀬晃大(21)、永尾兼太郎(31)

青柳健太(26)、横瀬弘樹(35)、長郷健彦(31)、岩佐太陽(22)

